

交換留学（派遣）帰国報告書

.....
留学先大学： 国立台湾大学
留学先での所属学部・研究科： 社会学部
留学先での在籍身分： 交換留学生
留学期間： 2014 年 9 月 ~ 2015 年 6 月
神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部
学年（出発時）： 3
本報告書記入日： 2015 年 7 月 29 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9 月 15 日

学年終了月日： 6 月 28 日

学期：

① 9 月 15 日 ~ 1 月 18 日

② 2 月 24 日 ~ 6 月 28 日

③ ___ 月 ___ 日 ~ ___ 月 ___ 日

④ ___ 月 ___ 日 ~ ___ 月 ___ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

台湾のトップ大学でありどの学部も人気である。勉強以外にもサークル活動や課外活動が盛んで、キャンパス内はいつも活気がある。キャンパスはとても広く自転車で移動している学生がほとんどである。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

留学生向けに中国語のコースがある。
また言語交換を希望する学生のための掲示板やサークルなどもある。

勉強面でのサポート：

受講する授業が登録されるサイトがあり、授業のスライドや先生からの連絡などネット上で見ることができる。

精神面でのサポート：

住居・生活面でのサポート：

学生寮は友達と勉強したり遊んだりできるラウンジやジムもあり快適に暮らせる。また24時間スタッフがいたので困ったことがあれば適宜対応してくれる。

課外活動のサポート：

課外活動について大学内のメールでお知らせがきたり、学内や寮の掲示板などに掲載されることも多い。

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。



はい



いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

大学の近くの学生寮。一人部屋で程よい広さもあり清潔。
コインランドリーは地下にあり乾燥機もあるため雨の続く冬でも困ることはない。また晴れた日には屋上で布団を干すこともできる。
各階に冷水・温水・熱湯の出る給水機があり便利であった。
1階ロビーには24時間スタッフがいたので困ったことがあれば気軽に聞ける。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

なし

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

インターネットケーブルは1階ロビーにも売っている。
各学期が始まる前にインターネット料400元を払う。

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館やPCルームで使うことができる。
1学期間1人100枚まで無料で印刷できる。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

大学内の保健センターで皮膚科を受診していた。診察代も薬代も日本より安い。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

街中の飲食店には少し衛生面が心配な店もあるが、基本的には問題ない。
1年を通して湿度が高く、日夜の気温差が激しかったり、天気が変わりやすいので体調管理はしっかりしなければならぬ。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

海外でも引き出せる口座を日本で作った。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

台湾には日本の物や文化も多く見られるが、やはり違う部分も多くある。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

フォーラムに参加したことをきっかけに知り合った方々とコンタクトを取っていた。しかし、実際に会う機会はあまりなかった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

していない。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

町の人たちは非常に親切で日本人に対して好意的だった。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

就職活動はしていないが、就職活動に関する情報を収集したりセミナーに参加したりした。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO _____, 6万 _____ 円/月

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

国立台湾大学のホームページ

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

日本の商品を売っている店もたくさんあるので欲しい物はほとんど手に入る。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：（ ） 点→帰国後（ ） 点

語学力の向上。留学前は挨拶ぐらいしかできなかったが簡単な日常会話であればできるようになった。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

トラブルではないが、語学ができなかったことが一番困った。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦める。

国立台湾大学は台湾トップの大学であり、そこで学ぶ学生もまじめで意欲的であるため、刺激をもらうことができる。また世界各国からの留学生も多く、多様な文化を持った同世代の人たちと交流することができる。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

| No. | コース名 | 教授名 | 時間数 ／週 | 留学先 での単 位数 | 履修し ている 学生数 | 予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。 |
|-----|---|------|-----------|------------------|-------------------|---|
| 1 | 国際生華語一 | 駱美秀 | 6 | 3 | 約15 | 留学生向けの中国語コース。毎回ディクテーションがあり各課ごとには小テストがあった。また宿題も毎回あり、普段から予習復習できていた。 |
| 2 | 国際生實用華語一 | 洪塘忻 | 4 | 1 | 約20 | 留学生向けの中国語コース。日常のことがテーマとして取り上げられているので実生活とつながっていて学びやすかった。 |
| 3 | Essentials of Global Health | 鄭雅文 | 3 | 3 | 約50 | 1時間半の講義のあとグループに分かれてディスカッション。最後は自分たちで選んだテーマについて調べてグループ発表 |
| 4 | Selected Readings on Contemporary Culture and Society in Taiwan | 何明修 | 3 | 3 | 約25 | ゼミ形式の授業。毎回2つの文献を読み各文献一人ずつ担当発表、そのあとディスカッション。予習の分量がとても多かった。 |
| 5 | 日文翻譯二上 | 辻明壽 | 2 | 2 | 約30 | 日本語学科の台湾人学生とペアで中国語から日本語へ翻訳。昔話やことわざからブログや歌詞など様々な文に触れられた。 |
| 6 | 国際生華語二 | 許筑琴 | 6 | 3 | 約25 | 毎日の宿題や各課ごとの小テストなど日常的に予習復習できる環境だった。会話練習などクラスメートと話す機会が多かった。 |
| 7 | 国際生實用華語二 | 洪塘忻 | 4 | 1 | 約20 | クラス内でのグループ発表など複数回あった。各課ごとの小テストのおかげで復習も定期的に行えた。 |
| 8 | Exploring Taiwan: natural environment and resources | 袁孝維 | 2 | 2 | 約60 | オムニバス形式の授業。フィールドトリップも数回あったり、実際講義で取り扱う動植物を教室で触ることができたりした。評価はグループ発表と期末試験。 |
| 9 | Exploring Taiwan: Film and Social Culture in Taiwan | 郭仁峯 | 2 | 2 | 約60 | 台湾の映画の歴史と社会とのかかわりについての講義。評価は中間期末のレポート。 |
| 10 | 商用日文 | 石川隆男 | 2 | 2 | 約40 | 将来日本語を用いて働きたい台湾人学生向けの授業。普段とは違った角度から日本語のビジネス用語を学ぶことができた。 |

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

留学生も受けられる授業は中国語英語共に多数あり、授業形態もクラスサイズもさまざまである。1コマが50分なので2コマ3コマ続きの授業が大半である。そのため講義形式の授業も後半はディスカッションなどを取り入れているものが多い。
 現地学生は真面目に勉強に取り組む人が多く、日ごろから図書館や自習室には多くの学生がいる。特に試験前になると満席で座れないことも多々ある。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 3万円
 - ・住居費：（月額） 2万9千 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 29万円
 - ・食費：（月額） 1万5千 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 15万円
 - ・保険料： _____
 - ・その他： 日用品、衣料、旅行
- 合計： 約100万円 （留学期間全体の費用）

その他 自由に記入してください。（800字〜）

国立台湾大学へ留学することができとても感謝している。台湾に行かなければ知り合えなかった多くの人々と知り合うことができ、多くのことを学ぶことができた。

まず、大学、勉強面について振り返ると、台湾大学は台湾トップの大学ということで現地学生も真面目で一生懸命勉強している人が多かった。また世界各国からの留学生が集まっているため様々な文化と触れ合うことができた。大学の授業は英語開講クラスも多く中国語ができない留学生でも本科生と一緒にとれる授業が多くある。台湾人学生の英語レベルも高いが、ディスカッションになると欧米の留学生が中心となりなかなか発言できないことも多かった。毎朝の中国語は1クラス20人前後と多過ぎず、とても楽しく学ぶことができた。同じクラスの留学生は中国語レベルがほぼ同じなので、クラス外でも中国語で話すことが多かった。

台湾での日常生活について。寮と大学はとても近く、毎朝8時10分から授業があったがほとんど遅刻することなく通うことができた。また周辺には多くの飲食店があるため、台湾料理はもちろん日本、韓国、タイ、ベトナムなど様々な国の料理を食べることができた。基本的に外食する生活だったが、食べ物は安くて美味しいものが多くあまり困らなかった。物価は思ったほど安くはなかったが、日本製品も多くあり欲しい物が手に入らないということはほとんどなかった。

台湾の交通機関はMRTもバスもとても安く、色々な所へ出かけることができた。台北市内はもちろん台北郊外にも観光地をはじめ楽しめる所がたくさんあった。台北市内は高層ビルもたくさんあり発展している一方で郊外には自然もたくさん残っているなど、場所によって全然違っていた。また、南や東の地域や離島もそれぞれに独特の文化や雰囲気があり同じ台湾でも様々な顔があった。

台湾に留学したことで、台湾人はもちろん他の多くの国々の人達と交流することができ、まだまだ自分の知らない世界がたくさんあることを実感した。違う国や文化について知ることを楽しさを知りもっといろいろな国に行き自分の目で見てみたいと思うようになった。その一方で、日本について知らないことも多くあることに気づかされたり、改めて日本の良さに気付いたりした。

留学に行く前は、不安も大きく迷うこともあったが、今では留学に行って本当に良かったと思っている。台湾で得たものをこれからしっかり生かしていきたいと思う。